

第2章 建設候補地

第2章 建設候補地

1 建設候補地

駅からのアクセスや中心市街地との回遊性を考慮し、国際版画美術館北側を建設候補地とします。

(1)建設候補地の比較

国際版画美術館との相乗効果を高めるため、国際版画美術館と隣接する2ヶ所(国際版画美術館北側、町田荘跡地)を建設候補地とし、「アクセス・回遊性」、「施設の管理運営」、「建設工事」という3つの視点から比較検討を行いました。多くの人にご来館いただき地域を活性化するという視点に立てば、町田駅周辺の中心市街地からの徒歩でのアクセスや回遊性が最も重要な視点となります。

(ア)アクセス・回遊性について

中心市街地と公園との回遊性を確保しやすい等の点で、芹ヶ谷公園の中心市街地側入口から徒歩のルート上に位置する国際版画美術館北側が優位と言えます。また、その施設のエレベータを美術館の来館者だけでなく芹ヶ谷公園の利用者もご利用いただけるように計画することで、町田駅側と芹ヶ谷公園中央部との高低差解消にもつながり、アクセスの改善や中心市街地との回遊性を向上させることができます。

(イ)施設の管理運営について

管理車両の公園への出入りの点では、公道からの距離が短く公園内にほとんど入らないという理由で町田荘跡地が優位と言えます。また、公園の散策路から館内の雰囲気を見ていただくことが可能であることから、公園利用者に対するアピールがしやすいという理由では、国際版画美術館北側が優位と言えます。2ヶ所それぞれに優位性があり、特に差はありません。

(ウ)建設工事について

町田荘跡地とした場合、工事車両が公園内に入る距離が短く公園利用者への影響が少なくなります。また、国際版画美術館北側とした場合、新たな造成が必要となります。これらの点から、町田荘跡地が優位と言えます。

(2)建設候補地の選定

以上の検討の結果、回遊性とアクセスの点で優位にある国際版画美術館北側を建設候補地とします。

なお、候補地として検討した町田荘跡地についても、国際工芸美術館と国際版画美術館の来館者だけでなく芹ヶ谷公園の利用者にもご使用いただけるような活用を図ることにより、公園全体の魅力を向上させることができます。今後、町田荘跡地の有効利用について検討を進めます。

■建設候補地

<国際版画美術館北側>

町田市原町田 5-16

<町田荘跡地>

町田市高ヶ坂 1654-1



■町田駅からのアクセスルート

